

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ



2024-25年度 国際ロータリー会長 ステファニー・アーチック 「ロータリーのマジック」
 2024-25年度 第2570地区ガバナー 五十幡和彦 「入って良かったロータリー」
 2024-25年度 志木ロータリークラブ会長 三上隆俊 「更なるクラブの魅力を協創しよう」

第2400回 移動例会

2024-7-3

- ◎司会 國分学 副会長
- ◎点鐘 三上隆俊 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 上原 実 副SAA
- ◎四つのテスト 上原 実 副SAA



「引継式」



例会に先立ち、市之瀬正靖前会長から三上隆俊会長に、金剛光裕前副会長から國分学副会長に、上野剛彦前幹事から田中幸彦幹事に、タスキ、バッジの引継ぎと、新役員から旧役員へ記念品の贈呈がありました

「会長挨拶」

会長 三上隆俊

2024 から 25 年度の会長を務めさせていただきます、三上隆俊です。どうぞ宜しくお願い致します。

先ず始めに、先程、バッジの交換をさせていただき、前年度の三役、市之瀬会長、金剛副会長、上野幹事の皆様、務められた年度は勿論、準備期間を含め誠ににお疲れ様でした。

僭越ながらクラブ会員を代表させていただき、ご尽力に敬意を表させていただきます。

改めまして、本日、沢山の会員の皆様にご出席いただきまして、この様に年度最初の例会を開催させていただけます事、そして、皆様のご理解とご協力をいただき、本年度の会長として、こうしてスタートラインに立たせていただきました事に、深く御礼を申し上げます。誠に有難うございます。

この流れから、これよりアクセル全開でお話を進めさせていただこうという所ですが、この後に卓話の時間を設けていただいておりますので、甚だ短い会長挨拶となりますが、ご容赦いただければと存じます。

「理事会報告」(7/3分) 会長 三上隆俊

- 1) 8/7(水)小諸 RC 納涼例会の件
参加者はメイキャップ扱いにすることを承認。参加人数によってはバスを手配することを了承。
- 2) 8/21(水)夜間例会 残暑払い・神山威仁会員歓迎会の件
夜間例会は残暑払い・神山威仁会員歓迎会

とする。

場所：弥次郎兵衛 朝霞台店 点鐘：17:00
会費：6,000円 等、親睦活動委員会より議案が提出され、了承された。

3) 助成金の件

ボーイスカウト志木第一団、細田学園インターアクトクラブへの助成金を承認

4) クラブ会報作成費の件

クラブ会報作成費の件、承認

5) その他

①市之瀬年度 6/20(水)最終例会決算書承認

②宮田会員退会の件、承認

「幹事報告」

幹事 上野剛彦



1. 国際ロータリー日本事務局より 2件受信

①7月の為替レート\$1=¥161

②母子健康月間リソース案内

2. 地区事務所より、ゴードン R. マッキンリー2023~24年度 RI 会長からのメッセージ受信

3. ロータリー文庫からのお願い受信

「米山功労者表彰伝達」

会長 三上隆俊



第4回マルチブル 小林八郎会員

「委員会報告」

●青少年奉仕委員会

委員長 榎本秀夫



「薬物乱用防止キャンペーン」のご案内

日時：7月20日(土)

集合：18:00 いろは遊学館 2F

実施場所：本町通り

●ロータリー財団

担当 遠藤貴博



この度 2570 地区ロータリー財団において 2名の 2025-26 年度派遣、グローバル補助金奨学候補生が決まりました。2名とも大変資質の高い優秀な人材です。それに伴い、内 1名の候補生を志木クラブにてお預かりすることとなりましたので、皆様快く応援していただけたいと思います。8月の第1例会には、一度ご挨拶いただく予定です。

●小諸交流委員会

委員長 岩下正基



「納涼夜間例会」のご案内

日時：8月7日(水) 18:30 例会 19:00 納涼会
会場：スタラス小諸(小諸市飯綱山公園内)
会費：8,000円
有志の方、ゴルフ準備してます。

「姉妹締結 50 周年合同記念例会」のご案内

日時：10月20日(日)
会場：料亭「音羽」
全員参加をお願いします。バスで行きます。
有志の方、ゴルフ準備してます。



「今月の誕生日祝」 親睦活動委員長 大村相基

4日 田幸御加会員 5日 為井公拓会員
10日 清水良介会員 14日 深澤好文会員
27日 内山雄二郎会員



「誕生日スピーチ」 内山雄二郎会員

7月生まれを代表して御礼申し上げます。
調べてみたら、私は今年が本厄ということ
です。どうも最近胃が痛いことが多いと思っ
ていましたが、今年を乗りきったら楽になるか
と思ってがんばっていこうと思いますので、
引き続きご指導の程お願いいたします。(談)

「卓 話」

「会長アワー」

『更なるクラブの魅力を協創しよう』

会長 三上隆俊

【はじめに】

前年度、会長エレクトといたしまして、本
年度を向かえるにあたり、志木クラブの役員・
理事・正副委員長などの役職に就任してい
ただきたい旨のお願いから始まり、第2570地区
の会長エレクト研修セミナーいわゆる PETS

や地区研修・協議会などに参加し、非公式と
なりますが次年度理事役員会を開催、各委員
会の炉辺会合などの経過を踏まさせていただきました。
常に、準備不足の不安が付きまとい
てはおりますが、時に、貴重なご意見やご協
力を下さった前年度の市之瀬正靖会長を始め
とする会員の皆様、そして「クラブ会長の意
識が変わらなければ何も変わらない」と諭し
鼓舞して下さい幹事であり年度計画書作成
リーダーでもある田中幸彦会員、事務局の瀧
澤様などなど、多くの方々にご尽力をいた
だきましたことに、改めて深く御礼申し上げ
ます。誠に有難うございました。

果たす責務を想像しますと身の引き締まる
所で、本番となるこれから先の一年に向け、
螺子を巻き直し勇猛果敢に取り組みさせてい
ただく所存です。

【 RI 会長・地区ガバナーの方針について 】

RI 会長についてですが、アメリカペンシル
ベニア州のマクマリーロータリークラブに所
属されている会員の方で、お名前が「ステ
ファニー・アーチック」さんという女性の方
です。RI 会長テーマとして「ロータリーのマジ
ック」と発表されています。「私たちは魔法の
杖を振って呪文を唱えるだけで、ポリオ(小
児麻痺)を根絶したり、世界に平和をもたら
したりするわけではありません。プロジェ
クトを終えるたび、寄付するたび、新会員を
迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を
生みだすのです」と言われています。ドミニ
カ共和国で浄水器設置活動に関わった折に、
汚い水がフィルターに入り、反対側から透明

な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。少年の一人が袖をつかんで、「もう一度魔法を見せて」と言ったそうです。安全な水の提供によりそこに暮らす人々の日常や延いては人生が好転されていくことから、少しでも力になれたことを知り自分の人生も変わったことで、ワードとなる魔法（マジック）からテーマにつながったようです。

アクションの項目として、

- 「平和を優先する」
- 「平和構築の手段としての『四つのテスト』」
- 「ポリオ根絶と資金調達」
- 「ロータリーの行動計画、クラブでの体験を魅力的なものとする」
- 「会員増強と DEI の促進」

以上のような、様々なアクションを起こすことによってマジック（変化）をもたらすと示唆されています。

【 第2570地区ガバナー方針について 】

国際ロータリー第2570地区ガバナーですが、「行田さくらロータリークラブ」に所属されている会員の方で、お名前が「五十幡和彦（いそはたかずひこ）」さんといいます。

自分を磨き、事業も磨き、世界平和に貢献するために、地区活動方針として「入って良かったロータリー」と唱えられ、会員誰もが、ロータリーで出会った感動と魅力を語れるようにしていきたいとされています。

アクションの項目として、5大地区方針を掲げられ、

- (1) ロータリーの奉仕活動のブランド化
- (2) 各クラブ2名以上の会員数純増と DEI の推進
- (3) ロータリー財団への理解と寄付目標達成
- (4) 行動計画（指針）他、ロータリーの取り組みと理念の再確認
- (5) 次の世代にロータリーのすそ野を広げるローターアクト支援

【 会長テーマについて 】

この志木クラブに入会をさせていただき、16年の時を過ごさせていただきました。その間、多くの新たな息吹として新入会員をお迎

えさせていただいた一方、残念ながらご逝去されたり、ご事情からクラブを去られたり、入会当時の会員の凡そ2/3の方々が入れ替わられています。背景として、社会情勢や取り巻く環境などの変遷の中、半世紀を超え長きにわたり志木クラブは存在をしています。つまり、徐々に変化する価値観の推移や課題に、柔軟に順応し、無意識の内にも貴重な経験値を蓄積しながら成長を続けている現状は、今の時代に必要とされている証なのではないかと考えます。ファクターとして、老壮青、ジェンダーレスなど、多様な魅力ある個性豊かな会員の方々が今後も必須となっていくのではないのでしょうか。付随して、相手を尊重しつつコミュニケーションを大切に、今にも増したロータリーの楽しさや、やりがいを会員の皆様と協力しながら創出し、バージョンアップをはかっていきたい思いから、「更なるクラブの魅力を協創しよう」をテーマとさせていただきます。

【 多くの魅力ある会員を有するクラブで、会長を務めさせていただくこと 】

立場が変わると見えてくることや新たな気づきも多く有り、冒頭でもお話をさせていただきました会長職就任の準備段階の中で、数多くの会員の方々の魅力を再認識させていただきました。その一部をご披露させていただきます。

今から3年前、小林八郎会長年度で副会長を務めさせていただいたのですが、慣例として会長と幹事のみで対応する場においても、「副会長も同席！」と声をかけ続けて下さいました。様々な場面で勉強をさせていただきました。「物事は自分勝手に決めつけるものじゃない！」、「真面目は良いが、度を過ぎると周りが疲れる！」、「例会の終了時間は守れ、時間だけは皆に平等なんだぞ！」、些細な事から、広く深い事、客観的で冷静な視点に至るまでご教示下さいました。当時の小林会長の様な立ち振る舞いは出来ませんが、次年度以降の人材を育成するお気持ちは受け取らせていただきました。

また、昨年末に、第 2570 地区事務所より 2024 から 25 年度の地区役員の選出の件で連絡が入りました。ストレスでしか感じない方もおられると思い、お断りする際には自分が盾となりお断りをしようと、ご指名の志木クラブ各会員へご意思の確認の連絡をさせていただきました。「ストレスは正直有るが、私が出向しなければ情報や人脈といった、地区との繋がりが途絶えてしまう」という献身的な返答を多くいただき、この様な素晴らしい気持ちを持たれている方々と共に日頃活動させていただいていたことに嬉しさを感じました。

また、2 年前から会員増強にご尽力いただいているお一人の、大村会員におかれましては多くの人脈をお持ちで、いざ入会の申し込みに至る難しさをクリアされていますことは、日常の交友関係は広く、そして深く、ご本人を取り巻く方々からのご信頼も厚いと拝察でき、入会後のケアも大事にされていらっしゃるご姿勢は、お人柄の一端がうかがえました。

地区の研修会において、「世の中は理不尽なことも多く、漠然的だが、常識ある方もいれば、非常識だと感じる方も同時に存在し、ロータリーに集う人々は良識ある方だ。」と、ベテランの地区役員の方のお話がありました。本年度に向け、各委員会で炉辺会合を開催していただいた際にも、山村昭康会員から「志木クラブの会員は謙虚から自慢はしないが、私が知りうるだけでも、ロータリー以外の場で社会的に重鎮だったり、功労者が多いぞ。」とおっしゃられたことが思い出されます。

普段のロータリーでお会いをする時には、様々な諸事情を背負っておられていてもその片鱗すら見せず、チャンネルを切り替えて穏やかに臨まれていらっしゃる、偉ぶること無く尊い献身的なお気持ちと、良識を持ち合わせた多くの方々が集い、志木クラブは守られている事に改めて気づかせていただきました。会長職に就任させていただくにあたり、気の持ち方一つとして、生涯一度きりの貴重な体験をさせていただいている事を肝に銘じ、真摯な対応を心掛けさせていただきます。

地区の研修会の時にパストガバナーから、

「各クラブに戻った時に『因習（意味：古くから伝えられてきた風習。多く、非難の意を含んで用いられる）』についてクラブ会員の皆様と話し合ってみて下さい」とのお話もいただきました。これを参考にさせていただき慣習にとらわれず、「志木クラブ」の従来のスタイルを悪戯に否定するのではなく、今後も適切と思われるスタイルを会員皆様と模索をさせていただき、不肖ながらいくらかでもより良い方向へ導かせていけるように、鋭意努力させていただきます。

ご清聴ありがとうございました。（要約）



ソングリーダー 上原実 副SAA



スマイル・林康雄副SAA



出席・高野邦夫委員長

●出席報告		
出席向上委員長 高野邦夫		
会員数48名	出席義務者46名	免除者2名
本日出席 43名	本日欠席 5名	本日出席率 89. 58%
前々回 MU (8名中1名)	前々回修正出席率 86. 00%	平均出席率 85. 44%